



8月30日(金)夜、本年度2回目の初動リーダー会議を開催しました。
 今回は、各区実行委員さんに「HUGのカード配り」役をお願いし、区防災担当者が初動リーダーとともに避難所運営について認識を共有する場を設定しました。

HUG(避難所運営ゲーム)で いざ、シミュレーション!

初動リーダー会議・訓練を開催

自主防災実行委員会



避難所のさまざまな問題にチーム力で対応することを学ぶ



今後は、今回の経験を生かし実際に担当する指定避難所において、それぞれの立場で「どのような準備をしておかなければならないか」を考えておくことが重要であることを再認識できました。



ワークショップとして行ったHUGは、各組が5〜6名単位で次々と出される状況カードに対し、真剣に考え、色々な対応策を検討する姿が目につきました。

柘植川の氾濫等があれば、中柘植と上市場との連携もたいへん重要になります。
 この連携の取り組みは昨年から行っており、鞆田地域や油日地域とも災害に関する話し合いを計画しています。



中出区川村組は場所的には上村区と混住しており、有事の際、安否確認や物資提供などは欠かせません。また話し合いをしました。

上村区・中柘植区は、西柘植地域と陸続き…。有事の際には協力が欠かせません
 8月31日(土)夜、柘植地区市民センターで、西柘植地域まちづくり協議会の防災担当者、上市場区・中出区ならびに柘植地域の防災担当者、上村区・中柘植区の関係者が集まり、地域を越えた協力体制について話し合いをしました。

柘植地域 まちづくりだより 第243号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
 三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
 (柘植地区市民センター内)
 〒五二九一四〇二
 電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三
発行日 二〇一九(令和元)年九月十五日(日)



柘植地域俳句コーナー
 間引菜と
 洗夕暮
 一番星
 清水節子

令和元年度 柘植地域防災訓練について

自主防災実行委員会

→→→ 原則 10月6日(日)に実施します。

一斉放送は
ありません

〔※都合で別の日に行われる区もあります。〕

今年は、区長さん等が交代の年で、「各区ごとの計画」による防災訓練となります。

区ごとに行う目的は、同じ柘植地域といっても、川や山が近い、崖や橋が近くにある等の自然環境、あるいは高齢者が多い、外国人労働者や新しく移住された方が居られる等、それぞれの区によって暮らしの実状には特徴があり、区民の方の防災に関する受止めや期待も異なるものだと考えるからです。これらのことは昨年度実施した「防災訓練の事前アンケート」でも明らかです。(『まちづくりだより』第228号参照)

そうしたことをふまえ、自分の区の特徴や住民の方の安全・安心に応える訓練を区の役員さん(自主防災実行委員さん)方が中心になって計画して頂きました。

各区の計画には、必ず『安否確認』を訓練項目に入れてあります。

災害発生時、混乱の中で「個人として自分や家族の身の安全を確認・報告すること」の大切さと、「区として区民の安否確認数の掌握と柘植地域災害対策本部への報告」の重要性を認識してもらうために、毎年、防災訓練の項目としているのです。

年に1回とはいえ、家族や隣近所の皆さんと一緒に、防災訓練に積極的に参加することで、災害発生時、お互いに協力し合って困難に立ち向かえるものだと確信します。

防災訓練には、最小限必要な物(無かったら困るもの)

保険証・免許証・常備薬・メガネ・入れ歯…等

を持って、参加するようにしましょう。

※ただし、無くさないようにご注意ください！

今年は、各区ごとに取り組みをします。



今年の柘植地域からは、次の3つの団体がエントリー！

この道38年のフロが教える栽培のコツ

山野草を苔玉で愉しむ [つげ農園](#) 電話45-4684

可愛いおててやあんよをぺったん！

今この瞬間を残そう親子で彩るカレイドフレーム

[アトリエsanahana](#) 電話080-1610-9044

イケメンマスターが伝授！

森の喫茶店で珈琲講習会

[カフェテラス・アゼリア](#) 電話45-3578

詳しくは、いがぶらのホームページ
をご覧ください。

★パンフレットは市民センターにも
用意しています。



★★★事務局だより★★★
▼いまのところ台風による被害が出ていないは幸いですが、残暑が厳しい毎日ですね。停電による空調問題などを想定すれば避難所の「暑さ」対策も重要になってきます。▼さて、8月下旬に来年度の伊賀市事業説明会が市内39の自治協議会(まちづくり協議会)対象に市本庁会議室でありました。項目は「街路灯LED化事業について」「生涯学習の推進について」「地区市民センターの指定管理者制度導入モデル事業について」。▼さまざま情報市から流れてきます。これまで同様、これらは区長さんを通じて住民のみなさんにお伝えしています。(西田方計)